

新生美術館の工事費にかかる答弁等経緯について

〔平成27年11月定例会議〕

- （一般質問・佐藤議員の質問に対する知事答弁） 鞆27年12月8日
「事業費の見込みについては、基本設計の取りまとめの中でお示しすることとしているが、その基本設計の前提として、プロポーザル業務条件として提示したとおり、既存館改修および新館建築で約4.7億円、公園整備で約5億円を工事費の上限としているところ。」

〔平成28年2月定例会議〕

- （代表質問・九里議員の質問に対する知事答弁） 鞆28年2月19日
「近代美術館の電気・機械などの設備について詳細に調査したところ、当初の想定よりも更新の必要な設備が多くあることが判明し、想定していた工事費4.7億円で、既存館改修、新館増築に加えて設備更新のすべてに対応することは厳しい状況であることが判明した。
引き続き、基本設計を詰める中で、様々な角度から可能な限り経費削減できるよう検討しており、本年5月に予定している基本設計取りまとめの段階で、工事費概算を明らかにする。」
- （一般質問・生田議員の質問に対する知事答弁） 鞆28年2月24日
「美術館工事に4.7億円、公園整備工事に5億円を前提に設計を進めている。」
「既存館の設備について、実際に現場の設備について詳細に調査した結果、更新に必要な設備が想定以上に多い。すべての増加費用を全体の工事費の中で対応することが厳しい状況であることが判明したという報告を受け、その旨答弁させていただいたところ。」
「引き続き基本計画に沿って、現在行っている基本設計を進めていくとともに、厳しい財政状況を踏まえ、当初の4.7億円を念頭に、可能な限り経費を節減するよう現在検討を指示しているところ。」
「この仕様、設計で次の段階に進めさせていただきたいということは、今年の5月をもって一定すべてを固め、ご報告させていただきたい。」
- （予算特別委員会全体質疑における生田議員の質疑に対する知事答弁） 鞆28年3月3日
「契約書に予定工事費4.7億円と書いてあり、それに則って行っていくべきだと考える。」
「この契約に基づいて4.7億円の中で収めるということであり、収まらないところが出るとすれば、それをどう優先順位をつけて、我慢するのか、先送りするのか、他の方法であるのか、それを今現在検討させていただいている。」
- （予算特別委員会全体質疑における佐藤議員の質疑に対する知事答弁） 鞆28年3月3日
「基本設計業務について、この予定工事費は4.7億円内で取りまとめる。」